

ジクワット・パラコート液剤 プリゲロックス L	取扱メーカー： OAT, シンジェンタ 原体メーカー： シンジェンタ, シンジェンタ
成分： ジクワットジプロミド〔ビピリジリウム系 PRTR・1種〕…7.0% パラコートジクロリド〔ビピリジリウム系 PRTR・1種〕…5.0%	性状： 暗青緑色水溶性液体 毒性： 毒物 消防法： —

【品目特性】

- 散布後1日で効果が出る、非選択性接触型茎葉処理除草剤。
- 気温が低くても効果が安定。
- 土に接触すると素速く不活性化。
- 50倍液散布で、スギナの翌年の発生を抑える。
- 散布15分後の降雨でも安定した効果を発揮。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 雑草の茎葉に十分付着するように散布する。
- 夕方あるいは曇天の日などに散布すると、散布液が雑草全体に付着（伸展）するため、いっそう優れた効果が得られる。
- 雑草が生えそろったら、できるだけ早い時期に散布する。雑草が大きくなってからの散布は、薬量、散布液量とも多く必要となり不経済である。
- スギナはつくしが発生して2カ月後（草丈20～30cm程度）に散布すると効果的である。
- 展着剤を加用する場合は非イオン系展着剤を使用する。

【薬効・薬害等の注意】

- 低圧で風向きなどに注意し付近の有用作物にかからないように散布する。
- 野菜類の生育期畦間散布や水田畦畔で使用する場合は、専用の噴口や散布器具を用いて作物にかからないように散布する。
- 散布に際しては噴口にカバー等をつけるか泡散布によることが望ましい。高圧によるミスト散布は絶対に行わない。
- 無人航空機での散布は行わない。
- 公園、堤とうなどで使用する場合、特に次のこ

とに注意する。

- 水源池等に飛散、流入しないように十分注意する。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さない。空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直播水稻に使用する場合には、乾田状態で雑草に茎葉散布する。
- は種又は植付前使用の場合は、それらの約1週間前から前日までの使用が望ましい。
- チューリップに使用する場合は、専用器具以外は絶対に使用しない。
- 適用外作物（有用植物）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】

- 医療用外毒物のため、取扱いには特に注意する。
- 保管……他の容器に絶対移しかえない、飲食物、食器類と区別し、直射日光をさけ、子供の手の届かないなるべく低温な場所に、密栓し鍵をかけ厳重に保管する。
- 万一誤って飲みこんだ場合には、応急処置を誤ると生命にかかわるので、一刻も早く吐き出させ、安静にして直ちに医師の手当をうける。
- 本剤は、眼、皮膚に刺激性があるので、散布液調製の際は、原液が皮膚についたり、眼に入ったりしないように不浸透性手袋や防護マスク、保護メガネなどを着用する。
- 魚類、藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- 桑に使用する場合には、給桑葉にはかからない

-

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	ジクワットを含む農薬の総使用回数	バラコートを含む農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量					
果 樹 類 (かんきつを除く)	—	一年生雑草	雑草生育期 但し、収穫前日まで	800～1000㎖	100～150 ℓ	5 回以内		5 回以内	5 回以内	
		多年生雑草		1500～2000㎖						
		スギナ		1000～2000㎖						
一年生雑草		800～1000㎖								
多年生雑草		1500～2000㎖								
スギナ ツユクサ		1000～2000㎖								
野 菜 類 (レタス、キャベツ、は く さ い、カリフラワー、ブロッコリー、ねぎ、だいこん、にんじん、ごぼう、たまねぎ、トマト、きゅうり、すいか、メロン、 なす、ほうれんそう、ピーマン、かぼちゃ、アスパラガス、パセリ、 ふ き、みょうが (花薹)、みょうが (莖葉)、うど、やまのいも(むかご)、しょうが、にんにく、たけのこ、いちごを除く)		一年生雑草	は種前又は植付前	600～1000㎖		3 回以内	雑草茎葉散布	3 回以内	3 回以内	
										キ ャ ベ ツ カリフラワー だ い こ ん ご ぼ う
										ト マ ト き ゆ う り ほうれんそう ピーマン か ぼ ち や
										は く さ い ブロッコリー レ タ ス た ま ね ぎ ね ぎ に ん じ ん す い か メ ロ ン し ょ う が に ん に く
	畦間処理：雑草生育期 但し、収穫30日前まで									
	は種前又は植付前									
	畦間処理：雑草生育期 但し、収穫14日前まで									
は種前又は植付前										
畦間処理：雑草生育期 但し、収穫3日前まで										

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	ジクワットを含む農薬の総使用回数	バラコートを 含む農薬の 総使用回数											
				薬量	希釈水量															
い　　ち　　ご	—	一年生 雑草	は種前又は植付前	600～ 1000 ml	100～ 150 ℓ	3 回 以内		3 回 以内	3 回 以内											
アスパラガス			定植前又は畦間処理： 雑草生育期 但し、収穫前日まで																	
			は種前又は植付前																	
			萌芽前：雑草生育期 (草丈20 cm以下)																	
		畦間処理：雑草生育期 但し、収穫前日まで																		
茶		一年生 雑草	摘採7日前まで	800～ 1000 ml						2 回 以内	雑草茎 葉散布		2 回 以内	2 回 以内						
ふ　　　　き			萌芽前	600～ 1000 ml												2 回 以内	2 回 以内			
			畦間処理：雑草生育期 但し、収穫21日前まで																	
み　　よ　　う　　が (花穂)			萌芽前			600～ 1000 ml		2 回 以内	2 回 以内											
			畦間処理：雑草生育期 但し、収穫30日前まで																	
み　　よ　　う　　が (茎葉)			萌芽前	600～ 1000 ml															2 回 以内	2 回 以内
			畦間処理：雑草生育期 但し、みょうが [※] (花穂) の収穫30日前まで、花 穂を収穫しない場合に あつては開花期終了ま で																	
た　　け　　の　　こ			一年生 及び多年 生雑草			萌芽前：雑草生育期 (草丈30 cm以下) 但し、収穫7日前まで														
う　　　　ど			一年生 雑草			畦間処理：雑草生育期 (根株養成期) 但し、収穫75日前まで				600～ 1000 ml		2 回 以内	2 回 以内	2 回 以内						
やまのいも (むかご) パセリ 類 (種実、 但し、だいず、 らっかせいを 除く)				は種前又は植付前		3 回 以内							3 回 以内	3 回 以内						
				畦間処理：雑草生育期 但し、収穫7日前まで																
	は種前又は植付前																			
豆 (種実、 但し、だいず、 らっかせいを 除く)	一年生 雑草	畦間処理：雑草生育期 (草丈30 cm以下) 但し、収穫3日前まで	600～ 1000 ml	2 回 以内		2 回 以内	2 回 以内													
		は種前又は植付前																		
		は種後出芽前 雑草生育期 (草丈20 cm以下)																		
		畦間処理：雑草生育期 (草丈30 cm以下) 但し、収穫3日前まで																		
だ　　い　　ず		畦間処理：雑草生育期 (草丈30 cm以下) 但し、収穫14日前まで		4 回 以内		4 回 以内	4 回 以内													
え　だ　ま　め																				

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	ジクワットを含む農薬の総使用回数	パラコートを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
さとうきび	圃場内の周縁部	一年生雑草	雑草生育期 但し、収穫3日前まで	600～1000 ml	100～150 ℓ	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内	3回以内
		多年生雑草		1000～2000 ml					
未成熟とうもろこし	—	一年生雑草	畦間処理：雑草生育期 但し、収穫3日前まで (草丈30 cm以下)	600～1000 ml		5回以内		5回以内	5回以内
			畦間処理：雑草生育期 但し、収穫45日前まで (草丈30 cm以下)						
桑			春期萌芽前 又は伐採後	800～1000 ml		3回以内		3回以内	
たばこ			大土寄期 畦間処理：雑草生育期			1回		1回	
花き類・観葉植物 (チューリップ、すいせんを除く)			畦間処理：雑草生育期 (草丈20 cm以下)	600～1000 ml		3回以内		3回以内 (ウイルス罹病株の枯殺は1回以内)	3回以内 (ウイルス罹病株の枯殺は1回以内)
すいせん			萌芽前 (雑草生育期)						
チューリップ			植付後萌芽前 (雑草生育期)						
			畦間処理：雑草生育期 (草丈20 cm以下)						
樹木類			雑草生育期 (草丈30 cm以下)						
水田作物畑作物 (休耕地)			休耕地	多年生雑草		雑草生育期		800～1000 ml	4回以内
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	600～1000 ml	5回以内					5回以内	5回以内
		1000～2000 ml							
樹木等	公園園庭園堤とう 駐車場道路 宅地のり面等	一年生雑草	1500～2000 ml					3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布
			800～1000 ml						
		スギナ	スギナ生育期	1000～2000 ml					

作物名	使用目的	使用時期	使用薬量	本剤の使用回数	使用方法	ジクワットを含む農薬の総使用回数	パラコートを含む農薬の総使用回数
チューリップ	ウイルス罹病株の枯殺	第2葉展開期から開花 20日後まで	1 ml / 株	1回 / 罹病株	ウイルス罹病株葉への滴下	3回以内 (ウイルス罹病株の枯殺は1回以内)	3回以内 (ウイルス罹病株の枯殺は1回以内)